

広報

かに

2012 (平成24年)

11/1



国体・ゴルフ競技(女子)
「チームぎふ」優勝!



- 市民みんなでいじめをなくそう …2
- 子どもの力を伸ばす …4
- 企業会計手法で見る財政状況 …6
- 市の財政状況は健全 …8
- フラッシュ・カニ …10
- 暮らし情報局 …12
- 市長の部屋から …14

ぎふ清流国体 出場を目指して 14 完結
ぎふ清流大会

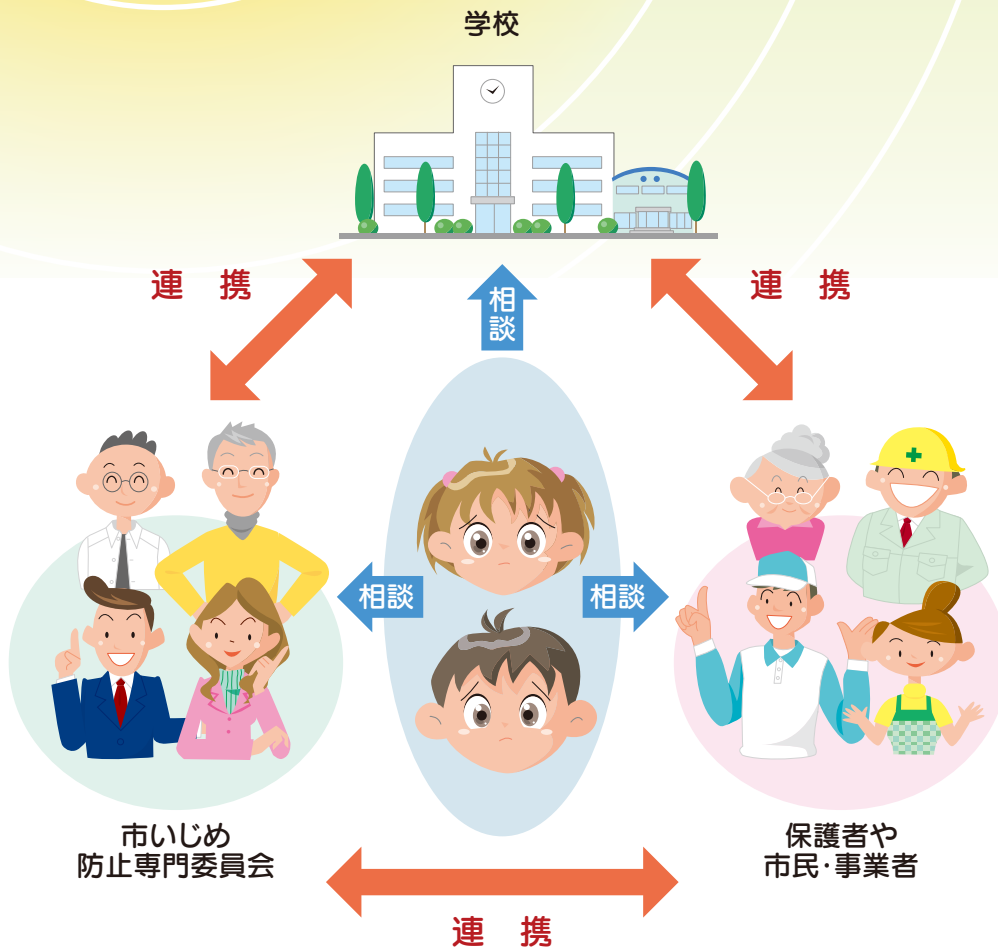
一打に願いを込め、栄冠に輝く
県女子ゴルフ競技選手団「チームぎふ」



が施行

じめをなくそう

る条例を施行しました。条例では、市全体でいじめの防止に取り組み、地域全体で子どもを育てましょう。



子どもの心や体に深刻な被害をもたらすいじめは、子どもの権利を侵害するものです。このようないじめの防止および解決を図るため、市は全国に先駆けて「可児市子どもいじめの防止に関する条例」を施行しました。条例を制定した理由や、条例のポイントなどについて紹介しま

条例制定の理由

市は、可児市の子どもが健やかに成長できる環境をつくるために、地域の誰もが他人ごとではなく、いじめの防止および解決に取り組むことが重要だと考えました。また、いじめの背景には、社会や家庭の問題など学校以外の要因もあ

り、学校だけでなく、幅広く取り組んでいく必要があります。

そこで、いじめの対応を学校や教育委員会だけに任せるとはならず、市民や事業者など、子どもを取り巻く全ての人がいじめの防止および解決に取り組むために、地域の共通ルールともいえる条例を制定しました。

条例のポイント

①市全体でいじめ防止に取り組むことを宣言

いじめは、市や学校、保護者、市民、事業者など地域全体で取り組むべき重要な課題です。その対策を実施することを宣言しました。

②責務の明確化

市や学校、保護者、市民、事業者などが、いじめの防止および解決に向け、責任を持つことその対策に取り組むことができるよう、それぞれの責務を次のように明確化しました。

市 いじめの防止および解決に必要な施策を講じる

学校 いじめの防止に取り組む。いじめを把握した場合は、速やかに対策を講じる

保護者 いじめは許されない行為であることを子どもに説明する

市民および事業者 いじめを発見し



「可児市子どものいじめの防止に関する条例」

市民みんなでい

市は、10月3日から「可児市子どものいじめの防止に関する条例」の施行を宣言しています。みんなでいじめの防止



地域の皆さんと いじめをなくす

市PTA連合会会長
松本 竜次さん(川合北)

些細なことがきっかけで、いじめにまで発展することがありますが、それは学校に限らずさまざまな場所で起きます。そのため、いじめの防止を「社会全体で取り組むべき重要な課題」として、条例が施行されたことはとても良いことだと思います。

学校や保護者、地域の皆さんが連携していじめの防止および解決に取り組めるよう、この条例をどのように運用していくかが重要になってくると思います。

条例施行までの取り組み

- H23 4月～8月 いじめ防止第三者機関検討委員会 (第1回～第6回)
- 9月15日 提言書の提出
- H24 4月～ いじめ防止専門委員会事務局設置
- 5月15日 通報・相談専用電話設置
- 5月～6月 いじめ防止専門委員会 (第1回～第2回)
- 7月2日～ 条例案のパブリックコメント募集
- 8月15日 パブリックコメントの結果公表
- 9月 条例案を議会に上程
- 10月3日 条例施行

市いじめ防止専門委員会事務局

☎ ②8700(直通)

月～金曜日(祝日は除く) 午前8時30分～午後5時

- ③通報および相談の体制
通報または相談を受けたいじめについて、専門家による客観的な立場からの調査、調整などを行うため、市いじめ防止専門委員会を設置します。委員会は主に次の業務を行います。
調査・調整 学校、当事者、保護者への調査・調整
助言・支援 専門家(弁護士、臨床心理士など)による助言・支援
- ④関係者への是正要請
市長は、委員会の調査、調整などの結果を受け、必要がある場合は関係者に対して是正要請をします。

係者に対して是正要請をします。是正要請を受けた者は、必要な措置を取るよう努め、対応状況を市長に報告します。

いじめに悩んでいたなら

いじめに悩んでいる子は、勇気を出して家族や学校の先生、信頼できる身近な人に相談してください。それでも解決が困難なことや、相談できないことがあれば、いじめ防止専門委員会事務局に相談してください。また、市民や事業者の皆さんは、いじめを発見したときは、速やかに市、学校または関係機関に通報してください。

いじめをなくすために

いじめをなくす力は、子どもの中にあります。大人は子どもの力を信じて寄り添い、市民みんながいじめをなくしましょう。

問合せ 人づくり文化課



小中学生に配られたチラシ

子どもももの力を伸ばす

市は、「子育て世代の安心・元気づくり」を重点施策としています。

今、市内の小中学校では、一人一人の児童生徒に寄り添った、きめ細かい指導を進めています。過ごしやすく学びやすい学校生活を送る中で、社会性・学力・体力を向上させます。

楽しい学校生活の土壌をつくる

市は、可見市の将来を担う一人一人の子どもの力を伸ばすため、今年度から「市学校教育力向上事業」を始めました。

児童生徒の学力や体力などを伸ばすためには、お互いの人間関係が良く、楽しい学校生活を送ることができる土壌が必要です。

その土壌をつくるため、現在、市内の小中学校では大きく三つの事業を実施しています。

県下トップクラスの取り組み

一 二つ目は、Q-Uアンケートと学力検査の実施です。小学校3年生から中学校3年生の全児童生徒を対象に行っています。Q-Uアンケートは、年2回実施し（他市は通常1回または中学校だけ）、学校生活で困っている状況などを

把握します。学力検査は、国語、算

数(数学)で実施し、学習で困っている状況などを把握します。把握したデータに基づき、児童生徒一人一人の困っている状況に対応した指導をしています。

二 二つ目は、大学教授などの専門家による小中学校への巡回相談です。今まで、配慮が必要な児童生徒の対応は、学校の教職員だけで実施していました。現在は、専門家が市内の小中学校を巡回し、アドバイスをしてもらい、指導に生かしています。

三 三つ目は、臨床心理士などであるスクールカウンセラーを全小中学校に配置したこと(他市は中学校だけ)。小学校にも悩みを抱えている児童は多くいます。児童生徒や保護者の悩みにしっかりと対応する体制を整えています。

Q-Uアンケート



「学校は楽しいですか」
「相談できる友達はいますか」
「クラスは明るくて楽しいですか」
など、約40～60項目を聞きます。

一人一人のアンケート結果を分析し、その子自身や学級全体が楽しい学校生活を送ることができるための方法を考え、指導に生かします。また、学校生活における満足感や意欲などが分かります。そのほか、不登校やいじめ、学級崩壊の予防などに活用できます。すでに、1回目は1学期に実施し、指導に生かしている最中です。

学力検査



1学期に全ての市内小中学校で国語、算数(数学)の学力検査を実施しました。結果の分析をし、子どもたちが苦手な範囲は、補充学習を行うなど指導に生かしています。また、どの子にも「良かった所」「頑張る所」「ここが大切」のコメントが付いて返され、学力向上のための具体的内容を分かりやすく知ることができます。





夢と希望を 持ち続けて

市PTA連合会副会長
藤井 利恵さん
(今渡)

可児市の取り組みの説明を聞くと、とても安心します。多くの保護者にも情報をもっと発信してほしいと思います。きっと、同じ思いになれると思います。

子も親も先生も、みんなが手をつないで、信頼関係の中で取り組んでいけると良いと思います。今の取り組みが、継続して長期的に実施してもらえることを願っています。

可児市の子たちが、これからも夢や希望を持ち続けてくれる子たちであることを期待しています。



一人一人の児童生徒に適したきめ細かい指導は進んでいます。いじめを含めたさまざまな要因によって不登校気味になる場合にも効果を発揮しています。

不登校にも効果

教職員研修



8月に教職員500人を対象に実施した講演会

取り組みがより有効なものとなるよう、市内の教職員は各種の研修や大学教授など専門家の指導を受けています。一人一人の児童生徒に適した指導ができるよう、指導力を付けています。

専門家による小中学校への巡回相談



授業を観察



指導方法をアドバイス

教室で子どもたちの様子を観察してもらい、その後に担任の先生から普段の様子などを確認し、指導方法をアドバイスしてもらいます。

集団になじめない子どもが、社会で自立していくために、どのように対応していくと良いかなど、長期的な視点で指導してもらいます。専門家は、「ほとんどの子どもたちは、社会で自立していける」と話していました。

スクールカウンセラーの配置



保護者の相談に乗るカウンセラー

児童生徒の観察や情報の記録、カウンセリングなどを行っています。子どもたちに寄り添い、直接触れ合い、遊びや勉強を通して子どもの理解を深めています。また、教職員の教育相談に関する助言や指導なども行っています。教職員との連携で、不登校の予防につながっています。

日本一の義務教育を目指す

教職員に、OJアンケートや学力検査、スクールカウンセラー、専門家による相談、研修など事業の有効性について取り組みごとにアンケートを実施しました。その結果、全ての取り組みで9割以上の教職員が「大変有効」「有効である」と答えています。

現在、他市町からも注目を集めており、何度も問い合わせがあるほどです。

日本の人口は減少しています。そして、可児市の人口も減少傾向にあります。

しかし、可児市を生き生きとした「安心して、楽しく暮らせるまち」にするには、子育て世代が安心し、元気づくりに貢献してもらうことが必要です。

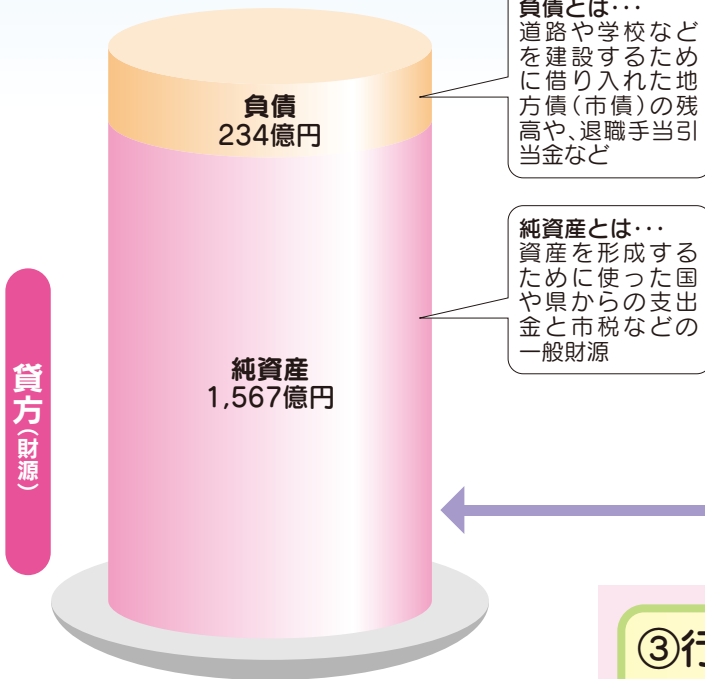
そのためには、市は日本一の素晴らしい教育のまちを目指し、「可児市で子どもを学ばせたい」と思われるまちにしたいのです。若者が増えることで、好循環となり、お年寄りまで全ての市民が安心して住めるまちになります。市民の皆さんと一緒に取り組んでいきましょう。

問合先 学校教育課

財政状況

(平成24年3月31日現在)

有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・対照表示した一覧表です。資産の合計額と、負債・純資産の合
いる表であることから「バランスシート」とも呼ばれます。



負債とは…
道路や学校などを建設するために借り入れた地方債(市債)の残高や、退職手当引当金など

純資産とは…
資産を形成するために使った国や県からの支出金と市税などの一般財源

②純資産変動計算書

(平成23年4月1日～24年3月31日)

貸借対照表における純資産が、1年間でどのように変動したかを表したものです。純資産は、これまでの世代が負担してきた部分で、1年間でこれが増えたのか減ったのか把握することができます。

項目	金額
期首純資産残高(A)	1,557億円
①純経常行政コスト	▼235億円
②一般財源 税金など	198億円
③そのほか 国・県補助金など	47億円
当年度の増減額(B) ①+②+③	10億円
期末純資産残高(A)+(B)	1,567億円

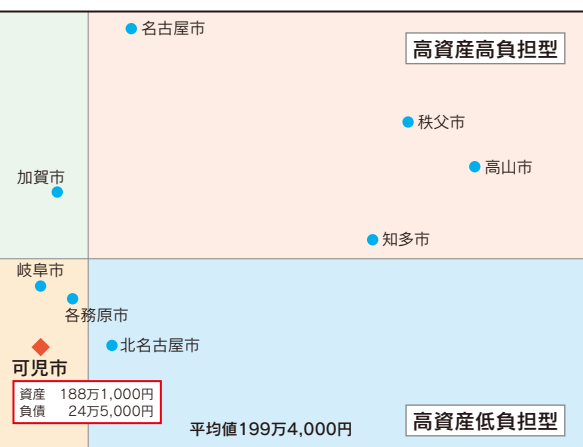
期首に比べ、期末純資産残高が増加しています。これは、これまでの世代が負担してきた部分が増加したことを意味します。

③行政コスト計算書

(平成23年4月1日～24年3月31日)

1年間の行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービス(人的サービスや給付サービスなど)を提供するための経費が、経常行政コストです。また、施設の使用料や保育料といった行政サービスを提供した結果で得られた受益者負担が、経常収益です。経常行政コストから経常収益を差し引いたものが、純経常行政コストです。

項目	金額
①人にかかるコスト 職員給与、退職手当など	37億円
②物にかかるコスト 委託料、修繕費 減価償却費など	80億円
③移転支的的なコスト 社会保障費、補助金 繰出金など	123億円
④そのほかのコスト 地方債の利子など	3億円
経常行政コスト(A) ①+②+③+④	243億円
経常収益(B) 施設の利用料や保育料といった受益者負担	8億円
純経常行政コスト(A)-(B)	235億円



市民一人当たりの資産

300万円

市、類似団体および名古屋市です。業構造などにより全国の市町村を分類した結果、同じグループに属

未現在の財務書類を活用しています。

企業会計手法で見る

市は、市民の皆さんに財政状況を理解してもらうため、民間企業会計の手法を取り入れた、平成23年度決算普通会計財務書類4表を作成しました。財務書類4表とは、①貸借対照表、②純資産変動計算書、③行政コスト計算書、④資金収支計算書のことです。

(▼はマイナス)

①貸借対照表

住民サービスを提供するために保純資産)で賄ってきたかを総括的に計額とが一致し、バランスがとれて

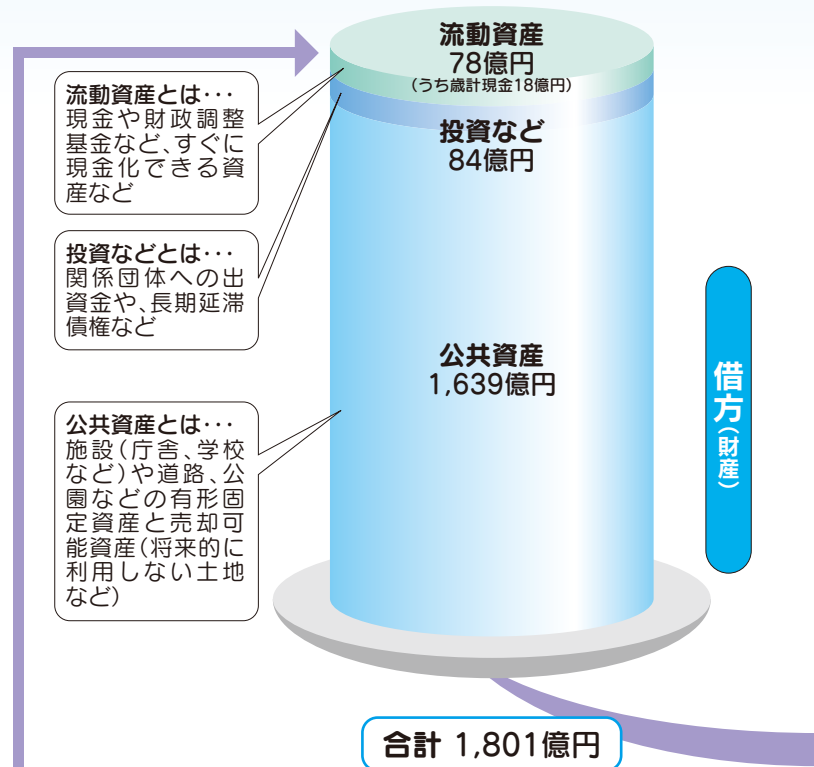
④資金収支計算書

(平成23年4月1日~24年3月31日)

資金(=歳計現金※)の出入りの情報を3つに区分し、1年間の行政活動の収入・支出の実態を表したものです。どのような行政活動に資金を必要とし、それをどのように賄ったかを把握することができます。

※歳計現金とは、市の所有として扱った現金のことです。

項目	金額
期首資金残高(A)	21億円
①経常的収支	
職員給与、社会保障費 税金、国・県補助金など	58億円
②公共資産整備収支	
公共施設整備、国・県補助金 地方債など	▼15億円
③投資・財務的収支	
地方債返済、基金積立 貸付金回収など	▼46億円
当年度増減額(B) ①+②+③	▼3億円
期末資金残高(A)+(B)	18億円



普通会計の財務書類から分かる財政状況

市民1人当たり(※1)の資産と負債

資産: 188万1,000円(前年度比+3,000円)

負債: 24万5,000円(前年度比▼10,000円)

市民1人当たり(※1)の行政コスト

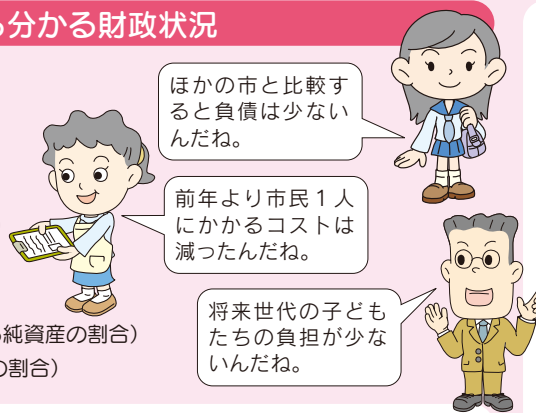
行政コスト: 25万4,000円(前年度比▼2,000円)

(参考: 県内主要都市および類似団体平均32万円)

社会資本形成の世代間負担比率(※2)

これまでの世代負担比率: 95.6%(公共資産に対する純資産の割合)

将来世代負担比率: 10.7%(公共資産に対する地方債の割合)

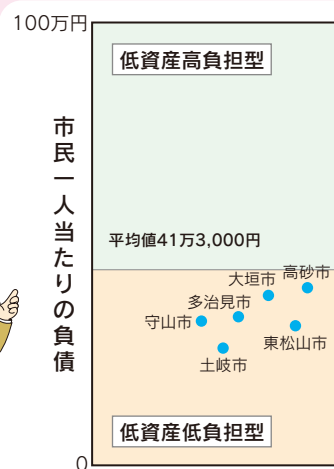


社会資本形成にかかる投資は、長い期間にわたって利用する公共設備に対するもので、世代間で負担が必要になります。将来世代の負担割合が高いことは負担の先送りになりますが、現状では負担の大部分をこれまでの世代が負担しているため、将来世代である子どもたちに過度な負担を掛けない財政運営になっています。

今後も、急激な社会変化への対応や必要な公共施設の整備ができるように、健全な財政運営に努めていきます。

※1 可児市民1人当たりの金額は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口95,747人で計算しています。

※2 社会資本形成の財源とならない地方債が含まれるため、合計は100%になりません。



※掲載した都市は、県内主要都

※類似団体とは、人口および産

する団体のことをいいます。

※ほかの都市は、平成23年3月

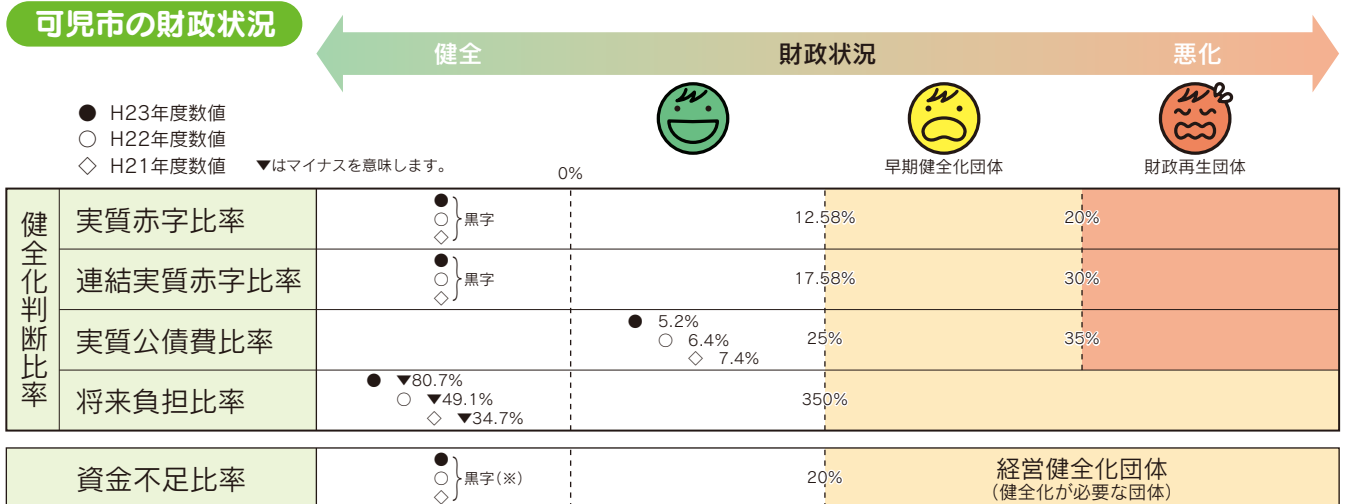
市の財政状況は健全

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成23年度決算による市の「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表します。

財政状況を判断する5つの基準

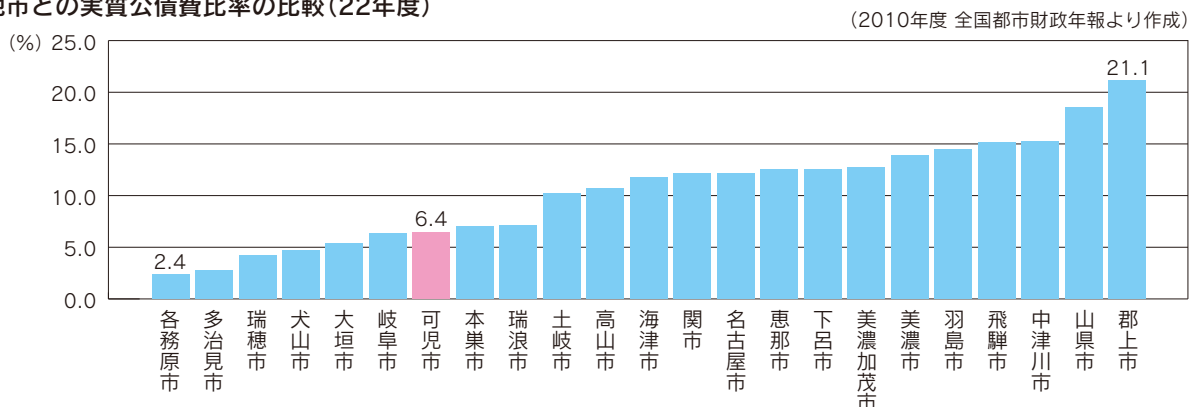
- 実質赤字比率＝財政規模に対する赤字額の比率により、市の財政が黒字か赤字かを判断します
- 連結実質赤字比率＝特別会計を含めた赤字額の比率により、市の財政が黒字か赤字かを判断します
- 実質公債費比率＝財政規模に対する元利償還金などの比率により、借金の返済にかかる財政負担の程度を示します
- 将来負担比率＝財政規模に対する将来負担額(実質的な負債総額から負債に充てることができる基金などを控除した額)の比率により、市の財政の将来的な財政負担の程度を示します
- 資金不足比率＝公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率により、黒字か赤字かを判断します

可見市の財政状況



※水道事業会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の5公営企業の全会計が黒字でした。

他市との実質公債費比率の比較(22年度)



財政が健全であるかを判断する5つの基準について、実質赤字比率と連結実質赤字比率、資金不足比率は昨年に引き続き黒字となり、健全な状態を維持しています。また、実質公債費比率と将来負担比率は昨年より改善されました。他市と比較しても、市の財政は健全だということが分かります。

しかし、今後は、社会保障費の増加が見込まれ、施設の維持補修も必要になってきます。さらなる健全な財政運営に努める必要があります。

市民が支える可児の環境

市内には、素晴らしい環境資源がたくさんあります。そして、それを守り、さらに魅力あるまちをつくるために、活動している人たちがいます。皆さんも活動に参加し、環境に目を向けてみませんか。

身近な環境をもっと魅力的に

鳩吹山や木曾川・可児川、カタクリ群生地といった貴重な自然だけでなく、身近な緑や生き物などは、全て可児の財産です。

市は、市内の環境の素晴らしさにみんなが目を向け、それを守り、もっと輝かせていけるようなまちづくりを目指しています。その実現のため、行政と協働して活動している団体があります。

みんなで考える環境まちづくり

その一つに、「環境まちづくりを考える会」があります。可児には自慢できる環境がいっぱいあるということとを、市内外に発信するために、市民の皆さんが主役となって知恵を出し合っています。

具体的には、市民参加の気温一斉調査や、サトイモを使った地産地消

の取り組み、「里山の日」制定など、環境への意識を高めるためのアイデアを出しています。

市民が取り組む里山の整備

里山を整備し、同時にみんなの憩いの場にするという思いで活動している市民団体が、「里山クラブ可児」です。

久々利にある我田の森も、荒れてしまった里山の一つでした。10年ほ



マツ葉を集めて里山を整備する様子



里山って何？

集落などに隣接し、たき木や山菜採りなどのために整備された山のことです。生活様式の変化により放置され、荒れてしまったものが多く存在します。

ど前里山クラブ可児は地権者と協定を結び、整備を始めました。ほぼ手つかずの状態から、間伐や下刈りなどの作業を繰り返し、徐々に山が再生してきました。散策路や炭焼き小屋も作り、楽しく利用できる場へと変わっていきました。

活動を広げ、魅力あるまちに

荒れた山に価値を見いだし、さらに磨きをかけていくような市民活動が、各地に広がっていきけば、可児はもっと魅力あるまちにならなうでしょう。

まずは身近な里山に遊びに出掛けて、市内の環境の素晴らしさを目を向けてみませんか。

楽しいイベントがあるよ!!



11/23 は里山の日 我田の森に遊びに行こう!

問合先 環境課

市民の皆さんに里山をもっと知ってもらうため、11月23日を「可児市里山の日」としました。

これにちなみ、我田の森でイベントを行います。トレッキングと、間伐材を使った物作りの2つが体験できます。

昼には、可児産の素材をふんだんに使ったみそ汁を用意します。そのほかにも、市内で行われている里山活動の紹介や記念植樹など、盛りだくさんの内容です。

- 期 日 11月23日(祝) 少雨決行
- 時 間 午前9時～午後2時(受け付けは午前8時30分～)
- 集合場所 花フェスタ記念公園東駐車場
- 対 象 者 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 参 加 費 無料
- 持 ち 物 みそ汁以外の昼食、食器(マイ箸、マイ椀)、飲み物
※我田の森には水道がありません。食器類を持ち帰る際の袋なども用意してください。
- そのほか 山の散策ができる服装で参加してください



ドライバーに手紙としおりを手渡す児童ら

9/27 交通安全をレターで呼び掛け

今渡北小学校の児童が、徳野南交差点付近（下恵土）で「交通安全レター作戦」を行いました。この行事は、開校以来続けている恒例行事。児童らは、「交通事故を1件でも減らそう」という願いを込めて、5・6年生が書いた手紙と3・4年生が作ったしおりをドライバーに手渡しました。

参加児童は、「笑顔で受け取ってもらえるのがうれしい。自分も交通安全に気を付けたい」と話していました。

9/30 大迫力! 地歌舞伎の熱演

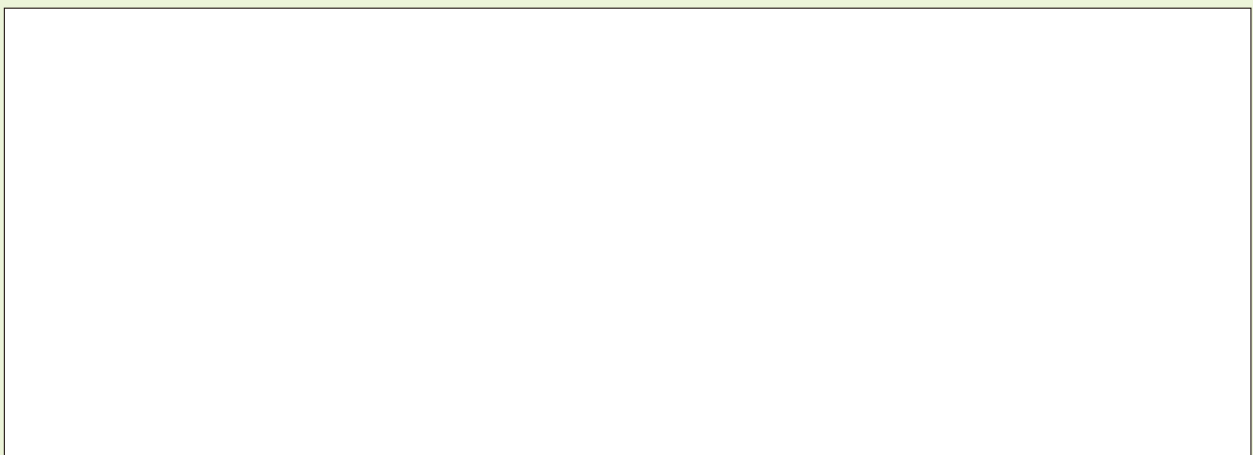
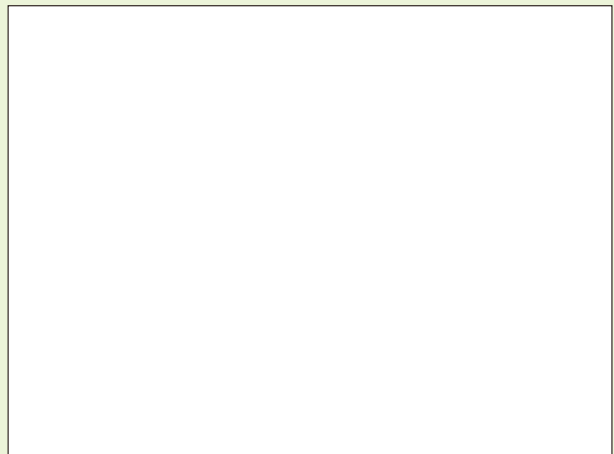
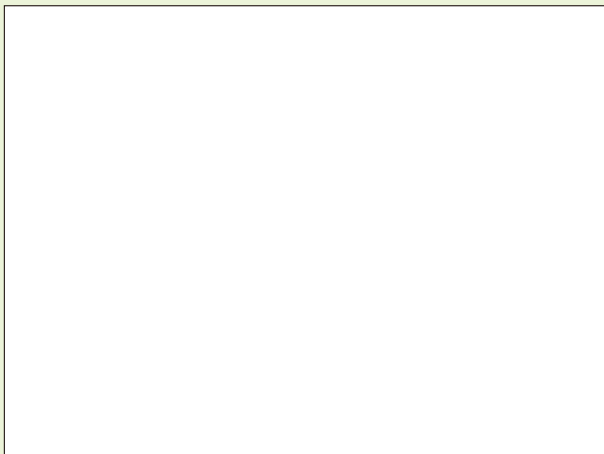
文化創造センター・アールで、第20回飛騨・美濃歌舞伎大会かに2012が開催され、約1,100人が来場しました。市内外の4団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露。会場に設けられた栈敷席と、ちようちんの明かりがいっそう雰囲気なんぶさかゆきを盛り上げていました。

可児歌舞伎同好会は、「南部坂雪の別れ」を熱演。出演者が見得を切ると、おひねりが飛び交い、大きな拍手が沸きました。



おひねりが次々と投げられる中、演技を披露する出演者

広
告





テニス教室で指導をする兼城(旧姓:井上)悦子プロコーチ(手前)

10/13 テニス場のオープンを祝う

10月1日にオープンした坂戸市民テニス場で、オープニング式典が開催され、関係者や地元強豪選手、スポーツ少年団などが参加しました。市長や議長、体育連盟会長によるテープカットが行われ、会場は拍手に包まれました。

式典の後、プロコーチによるテニス教室、サーブのスピード測定などのイベントが行われ、多くの人たちでにぎわいました。

10/20、21 健康に関するイベント盛りだくさん

第22回健康フェア可児が文化創造センターで開催され、両日で約1万4,000人の来場者でにぎわいました。

20日は県民健康セミナーとして、作詞家で作家の吉元由美さんが講演しました。吉元さんは、「心と体はつながっていて、心を整えれば、体は変わる。心と体が喜ぶように生きることは大切」と話しました。

21日は、ウォーキング大会や38の団体による体験ブースや展示が行われました。



大人気！
おやつを試食コーナー



元気にウォーキングする参加者

お知らせ

障がい者自立支援センター

パソコン講習会の受講者募集

期日 ○11月6日(火)、13日(火)

〓桜ヶ丘公民館 ○11月20日

(火)、27日(火) 〓今渡公民館

時間 午後1時30分～3時30分

内容 年賀状・住所録の作成など

対象者 障がいのある人

定員 10人(先着順)

参加費 500円(テキスト代)

申込・問合せ 同センター ☎・FAX

⑥5 2402 (平日の午前中)

広告

市指定無形民俗文化財

可児市宮太鼓

宮太鼓は、可児に古くから伝わる芸能で、大太鼓、小太鼓、横笛によって構成されます。「ミヤイリ」「メデタ」「シャギリ」などの曲目を市内各地の祭礼や行事で演奏しています。昭和30年～40年代にいったん衰退しましたが、伝統を復興し継承していこうという機運が高まり、昭和48年（1973）に可児市宮太鼓保存会が結成され、現在10支部（渡、八幡、住吉、東上屋敷、伊川、山岸、塩河、中恵土、川合、瀬田）が活動しています。

今月17、18日に花フェスタ記念公園で開催される農業祭では、18日10時から宮太鼓演奏があります。ぜひご覧ください。

問合せ先 教育文化財課



太鼓や横笛による迫力のある演奏(昨年)

生き生き健康コラム

Vol.3

特定健診のススメ

放っておくと怖い“糖尿病”

11月14日は世界糖尿病予防デーです。

血中に残った糖が尿として排出されるのでこの名前が付いていますが、糖尿病が問題視されるのは、合併症を招くなど体の全てにわたって重大な疾病を引き起こすことからです。

血糖値が高くなると、さまざまな臓器に影響を与えますが、特に細かい血管が集まっている眼や腎臓は障がいを受けやすく、網膜症や腎症を発症します。糖尿病になって透析が必要になったり視力障がいが起こったりするのはこのためです。

また、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化も起きやすくなります。

日本での糖尿病は、遺伝的な要素に肥満やストレス、運動不足などの生活習慣が重なって発症するこ

とが多く、知らない間に進行する糖尿病を早期に発見し、適切な指導を行うことがとても重要です。

そのために市や職場で実施される特定健診（メタボ健診）などの受診は欠かせません。特定健診では受診者の状態に応じた保健指導が行われるため、自分の健康状態を知り、悪い生活習慣を見直すための絶好の機会です。

引き返せなくなる前に、健診を毎年受けて、その結果をあなたの健康に役立ててください。



問合せ先 国保年金課・健康増進課

働きたいまち 暮らしたいまち

可児市は「ベッドタウン」と言う住宅都市のイメージがありますが、可児工業団地などの製造業を中心とした企業の集積地でもあり、製造品出荷額では各務原市・大垣市に次いで県内第3位（経済産業省の工業統計による）である「ものづくりのまち」でもあります。

市では、新規企業の誘致だけでなく、市内企業の事業拡大も支援する目的で、今年1月から事業所等設置奨励金の増額と共に奨励金交付条件を緩和して利用しやすい制度へ改めました。また、市内在住の新規雇用者数に応じて交付する雇用促進奨励金もあります。

問合せ先 経済政策課

地元で働く人、地元で買い物をする人、そして地元に住む人を一人でも増やすことが地域の活力を生みます。「地域経済の元気・躍進づくり」のために企業立地を進め、市民の雇用機会を増やせるよう努めます。



県下最大規模を誇る可児工業団地

早寝、早起き、朝ごはん 簡単！朝ごはんレシピ Vol.6



水菜とひじきのサラダ

【材料（4人分）】

水菜（サラダ用） 100g / 長ひじき（乾） 8g / 粒コーン 40g / チーズ 30g

【ドレッシング】

ユズ皮 1/6個 / ユズ搾り汁 1/6個分 / マヨネーズ 20g / みりん 小さじ1 / 塩・こしょう 少々

【作り方（所要時間 約10分）】

- ① 水菜は1～2cm位の長さに切る。
- ② 長ひじきは水で戻しサッとゆで、1～2cm位の長さに切る。
- ③ チーズは5mm角に切る。
- ④ ①、②、③と粒コーン、全てを混ぜ合わせる。
- ⑤ ドレッシングをかける

【ドレッシング】

- ① ユズの皮は薄くむき、みじん切りにする。
- ② 残りのユズは搾っておく。
- ③ ①、②とマヨネーズ、みりん、全てを混ぜ合わせ、塩・こしょうで味を調える。



豆知識

ビタミンC、鉄、カルシウムが多く含まれる栄養満点サラダ！ユズ風味ドレッシングでどうぞ！

【栄養成分（1人あたり）】

エネルギー 83kcal / たんぱく質 2.8g / 脂質 5.8g / カルシウム 130mg / 鉄分 1.8mg / 塩分 0.4g

問合せ先 健康増進課



市長の 部屋から 19 施策や考えを発信



「芸術のパワースポット」

日本が世界に誇る総合芸術「茶の湯」の文化。茶室、庭園、書画、生け花、茶器、和菓子、そして装い、作法など、さまざまな日本芸術が、見事な調和を見せてくれます。安土桃山時代、この文化の確立に向けて大きな役割を担ったのが、黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部といった、400年以上も前に可見市で焼かれていた茶陶の名品です。

これら茶陶は瀬戸で焼かれていたという、それまでの定説を覆したのが、人間国宝で、可見市名誉市民でもある荒川豊蔵氏です。氏が、久々利大萱で発見した陶片は、歴史に残る世紀の大発見となりました。和物の茶碗で日本の国宝となっているのは二つだけですが、その一つ「卯花塙」は、可見市大萱の牟田洞窯で焼かれたものといわれています。大平・大萱地区が、「美濃桃山陶の聖地」とされる由縁です。



昭和5年、荒川氏が大萱で発見した筍絵陶片

豊蔵氏が収集した書画や国内外の古陶磁器、自作の茶陶、皿や鉢など、貴重な芸術品が収蔵公開されている「豊蔵資料館」。この度、

9億円を超えると評価されている収蔵品を、土地建物と併せて、可見市にご寄付いただくことになりました。



人間国宝 加藤孝造氏

この地は、400年前に国宝を生み出した窯跡を含め、当時、第一級の芸術活動がされていた空気を感ずることのできる、貴重な「景色」を今に伝えていきます。さらに、この地は今なお、多くの芸術家を集めるパワーを感じさせます。人間国宝の加藤孝造氏をはじめ、多くの陶芸家が活動されています。陶芸家以外にも、自然と人との共生モノユメント「丘」を制作いただいた、日本を代表する彫刻家神戸峰男氏も、この地に移り住んで芸術作品を生み出しておられます。



400年のパワーを感じる牟田洞窯跡地

す。種痘や雌しべ、雄しべ、花粉の命名でも有名な理学博士伊藤圭介、母子手帳の先駆けとなる「ベビーブック」出版で活躍された海老衣子、サクライソウの研究で著名な加藤新市、勤皇の志士西山謙之助など、日本の近現代史に名を残す多くの人物も、久々利の地にゆかりがあります。

「美濃桃山陶の聖地」は、同時に長い歴史を経て今に続く、「芸術のパワースポット」なのかも知れません。私は、この地を多くの方々が訪れ、その力を感じていただける場所にしていきたいと願っています。

市長 富田成輝

広報には、ボランティアグループ「音訳・ヴォイスの会」の皆さんにより音訳されています。音訳版を希望する人は、図書館本館へご連絡ください。



記念冊子「オーイしんちゃん」好評発売中!



先日、約20年ぶりに小学校時の同窓会が行われました。久しぶりに会う同級生たちと思い出話に花を咲かせようと、わくわくしながら会場に向かいました。しかし、その夢は開始30分で見事に打ち砕かれます。私が市の職員ということが分るとありがたい苦情・ご意見の数々…。その中で「可児市の財政は大丈夫か?」という質問もありました。今月号で特集したように、現在のところ市の財政は健全と言えます。しかし、今後は高齢化による社会保障費の増加、公共施設の老朽化に伴う補修費などが必要になってきます。その日、お酒を酌み交わした同級生世代が、市の将来を真剣に考えなくてはいけない時期が来ています。(智)

図書館だより

市立図書館 本館(広見) ☎②5120
 帷子分館 ☎⑥8530
 桜ヶ丘分館 ☎④3473

休館日 本館・分館共通 毎週月曜日、11/30(金)
 桜ヶ丘分館の臨時休館 11/4(日)

展示のご案内

本館 ~11/18(日)
 「読書週間特集・岐阜県出身の作家の本&ルリユール」展
 10月27日~11月9日は読書週間です。身近な作家の本を手にとってみませんか?岐阜県出身の作家をパネルで紹介し、また、ルリユール(もう一度糸で綴じる、という意味の仏語。上質な製本方法です)作品の展示もします。



11/20(火)~29(木)
 「手づくり絵本大賞受賞作品」展
 「プレゼント」または「バラ」をテーマにした手づくり絵本大賞の受賞作品です。
帷子分館 ~11/29(木)
 「ベストセラー・ロングセラー」展
 過去数十年のベストセラーの歴史をたどりました。あなたがもう一度読みたい本はどれですか?

新しく入った本

二 「彼女の時効」 新津きよみ/著(光文社)
 一般書 「ならずものがやってくる」 ジェニファー・イーガン/著 谷崎由依/訳(早川書房)
 「低線量汚染地域からの報告 チェルノブイリ26年後の健康被害」 馬場朝子、山内太郎/著(NHK出版)

児童書 「ともだちできたよ」 こみねゆら/絵 内田麟太郎/文(文研出版)
 「おとうさんはうんでんし」 鈴木まもる/絵 平田昌広/作(佼成出版社)
 「ABCの本 あなたがつくるABCのおはなし」 杉田豊/作(講談社)

かにっ子タイムクリスマス特集

人形劇団パンの楽しい人形劇!

期日 12月8日(土)
 時間 午後2時から3時
 場所 図書館本館
 出演 人形劇団パン
 内容 「おおかみと7匹の子やぎ」
 「ゆかいなペットショー」ほか
 申し込み不要



昨年の様子

MEDIA INFORMATION

CATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可児(デジアナ7ch、デジタル12ch)で毎日放映中!!

11/3(祝)~9(金)

●市民みんなでいじめをなくそう

10月3日から「可児市子どものいじめの防止に関する条例」が施行されました。今なぜこの条例が作られたのか、また、主なポイントを紹介します。

★市長の部屋から

11/10(土)~16(金)

●環境まちづくりを考えよう

11月23日は可児市里山の日です。当日、我田の森(久々利)ではさまざまなイベントが開催されます。このような里山体験による環境まちづくりについて考えます。

★レッツゴー! 市役所

放送時刻 月~金曜日 7:30・12:00・17:00・19:00・21:00・22:00
 土・日曜日 7:30・12:00・14:00・19:00・20:30・22:00
 ※番組の内容や時間は変更することがあります。
 ※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

11/17(土)~23(金)

●GO!GO!ミナモぎふ清流国体⑩

10月4日~6日に可児市において開催されたゴルフ(女子)の様子や結果、これまでの取り組みなどを振り返ります。今回は最終回です。

★タウン情報

11/24(土)~30(金)

●好きなのはカニダー

市では、学校教育力向上事業に取り組んでいます。この事業がどのようなものか、また、何のために行われるのか?カニダーが調査します。

★レッツゴー! 市役所



色鮮やかな紅葉に囲まれ
その美しさを堪能しているのか
散りゆくはかなさを憂いているのか……

平成23年市観光協会写真コンテスト入賞作品
真田 京さん撮影

心
の
風
景

213



紅葉の
公園で



表紙 県女子ゴルフ競技選手団「チームぎふ」

「ぎふ清流国体」は、岐阜県勢が47年ぶりに天皇杯（男女総合優勝）、皇后杯（女子総合優勝）を獲得しました。「ぎふ清流大会」では、過去最多の184個のメダルを獲得しました。

市内では女子ゴルフが開催され、岐阜県チームが見事優勝を飾りました。監督の櫻井和男さん（美濃加茂高等学校ゴルフ部顧問：矢戸在住）は、「地元開催で優勝の期待に応えられ、ほっとしている。プレッシャーがあったが、みんな頑張ってくれて本当に良かった」と笑顔で話していました。

会場には、3日間で選手や競技関係者、観戦者ら約3,100人が訪れました。全国から集まった選手たちを、運営に携わった競技関係者や高校生補助員、ボランティアを担った市民の皆さんなどが温かく迎え、応援し、盛り上げていました。

これを契機に、いっそう市民と行政が一体となって、今後のまちづくりに生かしていきたいですね。



左から古川茉由夏選手、鬼頭桜選手、櫻井和男監督、小野祐夢選手

広報かに No.728
2012年11月1日号

編集・発行／可児市役所 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地
☎(0574) 621111 ㊚(0574) 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 101,535人（男／50,318人 女／51,217人）世帯数 38,955世帯（10月1日現在）
（前月より76人増・45世帯増、昨年同月より31人減、20世帯減）

「広報かに」11月1日号、1部当たりの印刷費は約11.26円（税込み）です。



広報かにには100%再生紙を使用しています。
植物油インキで印刷されています。